

抗イヌCD20イヌ化抗体を用いた臨床研究 (京都動物医療センター)

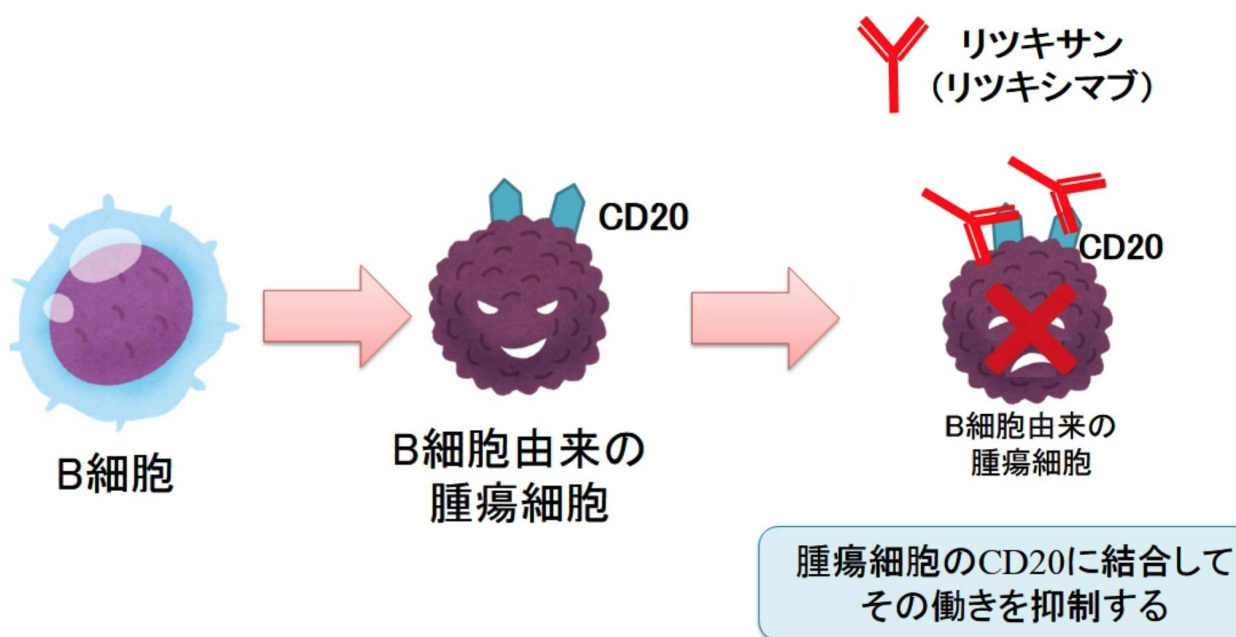
イヌ抗CD20抗体

犬用リツキサン：免疫チェックポイント分子（CD20）阻害抗体

抗CD20抗体とは

CD20はB細胞に特異的に発現している膜表面分子であり、正常リンパ球・悪性リンパ腫の両方で発現しています。

抗CD20抗体はこのCD20分子に付着し作用する抗体医薬です。



対象となる犬

- B細胞型リンパ腫の診断のみで治療していない症例
- B細胞型リンパ腫に対して、CHOP療法を行っていたが再発した例（レスキュー療法）

治療内容

- 「B細胞型リンパ腫の診断のみで治療していない症例」
→標準治療であるCHOP療法に抗CD20抗体を導入し新たなプロトコールを遂行。
生存期間で評価する。
- 「B細胞型リンパ腫に対して、CHOP療法を行っていたが再発した症例」
→抗CD20抗体のみを週に1回、6回連続で投与し腫瘍縮小効果を判定する。

副作用について

製剤成分による副作用

本試験において用いる抗イヌPD-1イヌ化抗体は、哺乳動物細胞を用いて作製された組換え蛋白質です。組換えイヌ化抗体蛋白質を健常犬の生体に投与することの安全性については、安全性試験において確認されていますが全ての個体にそれが当てはまるかは不明です。

製剤の効果が副作用として現れる場合（免疫過剰状態）

抗CD20抗体のみを週に1回、6回連続で投与し腫瘍縮小効果を判定する。

参加にあたっての注意点

- 被験薬は京都動物医療センターにて投与され、ホームドクターでは投薬できません。
- 参加にはご家族全員が十分内容を理解し、同意していることが必要です。なお試験への参加はご家族の自由であり、途中でやめることも可能です。
- ホームドクターからの紹介後、当院での診察を行い臨床試験に参加できないと判定される場合があります。
- 臨床試験には入症頭数に限りがあります。予定に達した場合は臨床試験に参加できない場合がありますのでご了承ください。
- 本試験は当センターの獣医師主導の臨床試験です。企業の協力のもと実施される臨床試験ではありません。
- 被験薬は無償提供されますが、その他診療費は京都動物医療センターの規定に従ってご家族にご負担頂きます。
- 入症前のご家族から電話・ファックス・メールなどによる問い合わせはご遠慮いただいています。
- 入症に関するご質問などございましたら、ホームドクターを介してご連絡頂けますようお願い申し上げます。



京都動物医療センター
KYOTO ANIMAL MEDICAL CENTER

〒604-0981 京都市中京区毘沙門町550番地4

075-251-7252

腫瘍科担当：萩森